

2013.5.27

社会福祉法人松溪会
平成25年度 事業報告・決算にあたって

理事長 武 居 敏

1, 特筆すべき事項

岡崎保育園、放課後児童クラブ秋津は、移転改築後初めての入園児童を迎えた年であった。岡崎保育園は定員120人に対して、平成24年度の月平均の平均利用人数は131人であったのに対し、平成25年度は141人であった。移転改築の効果が大きかったものと思われる。園の中期計画を作成した。財務的にも予想以上の初年度であった。

一方、市野与進保育園は定員を平成24年度90人に対して、25年度120人に変更した。平均利用人数は平成24年度123人であったが、平成25年度は月平均136人であった。一時保育の減少等により財政規模は若干縮小したものの順調に推移した。

3事業いずれも多くの入園希望や利用希望に対して、できる限り支援をするという方針に沿って、多くの利用希望にこたえることができた。

また、いまだに浜松市の待機児童が多いことを踏まえて、前回の理事・評議員会でご承認いただいたように、市野与進保育園の増築を計画し30人の定員増を図ることを決定した。

研修の一環として、岡崎、市野与進の職員を一人ずつ1週間交代で相互の園を経験する交換研修を実施した。相互理解ができ、また他園の保育を知ることにより自分の保育に生かす経験となった。

2, 年度方針

- ① 保育指針に沿った保育の実践
- ② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営
- ③ 保護者への積極的な子育て支援
- ④ 保育環境の整備
- ⑤ 働きやすい環境づくり、職員の育成
- ⑥ 法人組織の強化
- ⑦ 経営の把握と無駄の排除
- ⑧ タイムリーな情報発信
- ⑨ 環境を守る取り組み